

個別事業説明書【PR版】

農 林 水 産 部



1 えひめ農林水産業魅力発信事業費

「えひめ愛顔の農林水産人」を活用して、愛媛の農林水産業の魅力や成功体験を積極的に情報発信し、農林水産業のイメージを新3K(稼げる、カッコいい、感動を楽しめる)に変えることで、次世代人材の掘り起こしを図り、新たな担い手の確保につなげる。

お問い合わせ先
農林水産部農政企画局
農政課農地・担い手対策室
(089-912-2215)

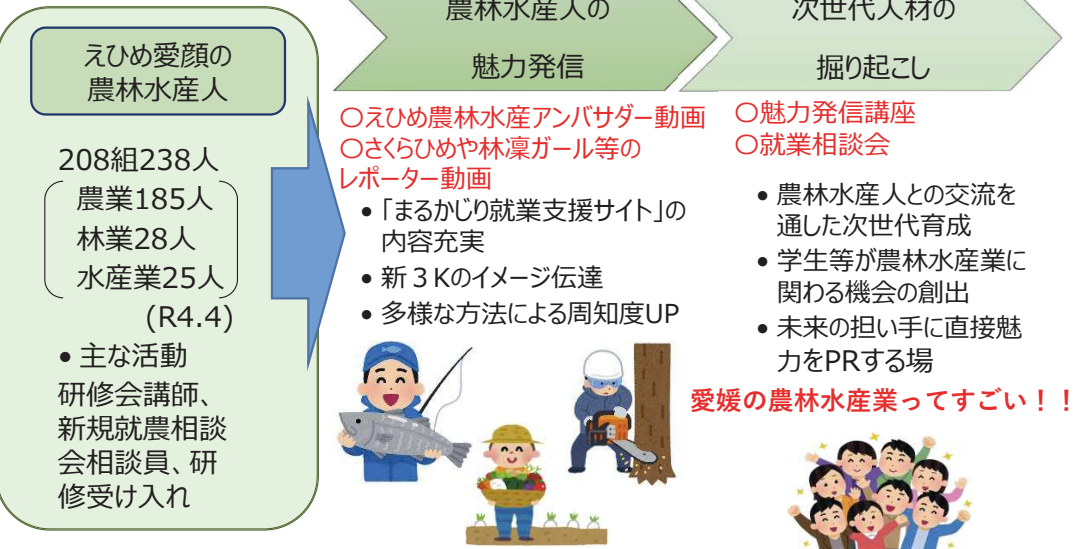
事業イメージ

KPI	まるかじりサイト年間アクセス数	現状値	56,000PV(R4年度見込)
	(11,000PV/年増)	目標値	89,000PV(R7年度)
	農林水産業年間新規就業者数	現状値	207人(R3年度)
	(280人/年)	目標値	840人(R5~7年度累計)

農林水産業のイメージアップ

愛媛の農林水産業は
稼げる、カッコいい、感動を楽しめる
(新3K)

農林水産人を最大限活用した農林水産業の魅力発信



事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
【森林環境保全基金充当事業】

- 1 農林水産人魅力発信事業 13,148千円**
- 新3K農林水産業の魅力発信
 - えひめ農林水産アンバサダーによる日常や活動の動画配信
16人(農業10人、林業3人、水産業3人) × 1~2回/月
 - 女性目線での農林水産業情報の発信
 - さくらひめや林凜ガール等のメンバーによる、農林水産人の取材動画配信
農業: 5人 × 1回/2カ月、林業・水産業: 1人 × 1回/年
 - 動画配信研修会の開催
 - 新3K農林水産業の魅力発信につながる動画配信研修会の開催(3地区 × 1回)
参加者: えひめ農林水産アンバサダー、さくらひめや林凜ガール等のレポーター等 30人
 - マルチメディアでのPR
 - デジタルツールの内容充実・各種SNSの開設・運営による、農林水産業の魅力発信
 - ホームページ「まるかじり就業支援サイト」のリニューアル
 - SNS (YouTube、Facebook、Instagram) の開設と配信・運用
 - SNS等を活用したWeb広告(農林水産人活動周知・講座案内・ツアー案内等)
 - デジタルサイネージを利用した周知
- 2 次世代人材掘り起こし事業 2,840千円**
- 大学・高校での出前授業
 - 農林水産人による愛媛農林水産業の魅力発信講座
農業: 7校、林業: 3校、水産業: 1校
 - 就業相談会でのセミナー開催
 - 農林水産人による講義、個別相談
 - 農林水産業体験会
 - 就業希望者を対象に体験・研修を実施(既存事業)
 - 林凜ガールによる林業就業体験会
 - 進路、就職担当者との懇談
 - 学校関係者と農林水産人の懇談による就業への理解促進



2 ひめカレ高度農業人材育成強化学業費

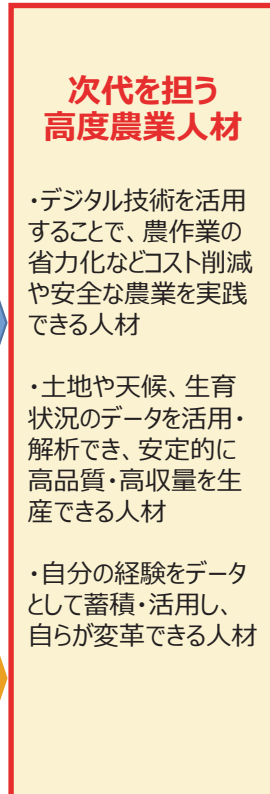
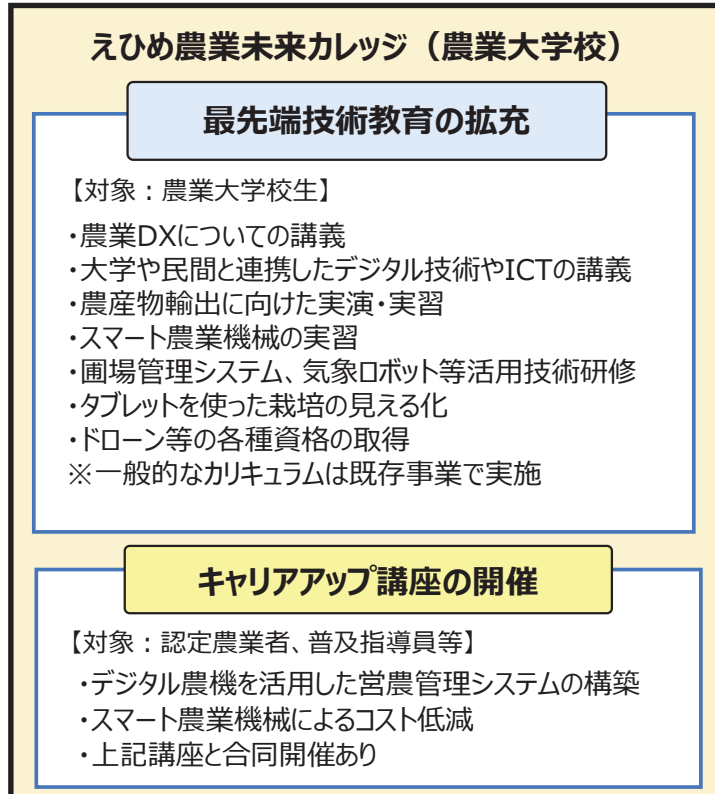
えひめ農業未来カレッジ(農業大学校：略称「ひめカレ」)において、農業DXや農産物輸出、新技術の導入などにチャレンジする未来の愛媛農業を支える人材を育成する。

お問い合わせ先
農林水産部農政企画局
農政課農地・担い手対策室
(089-912-2215)

事業イメージ

KPI	高度農業人材育成数 (100人/年)	現状値	—
		目標値	300人(R5~7年度累計)

事業概要



- | | |
|---|----------------|
| 1 最先端技術教育の拡充【新規】 | 3,311千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○農業DXに関する講義 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：農業DX総論、作物別DXの取組状況、スマート農機の開発状況 ・講師：県最高デジタル責任者、愛媛大学、農機メーカー等 ○農産物輸出に向けた実演・実習 ○スマート農業機械の実習 ○デジタルツールの活用（タブレットの整備・電子図書館の利用） ○ドローン等各種資格の取得 | |
| 2 就農支援体制の整備 | ゼロ予算 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○農業高校との連携強化【拡充】 ○愛媛大学農学部との連携強化【新規】 ○民間農業関連団体との連携強化【新規】 | |
| 3 将来ニーズを見通した技術教育（拡充） | 358千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○「えひめ愛顔の農林水産人」を講師に高大連携で特別講義【新規】 ○儲かる栽培品目の実践→就農地域での産地化品目、産地戦略品目（普及との連携） ○6次産業化や各種資格の取得【拡充】 | |
| 4 社会人教育の強化 | 5,367千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○農業者キャリアアップ講座の開催【再編】 <ul style="list-style-type: none"> ・農業DX公開講座（農家・指導者）【新規】 ・農業担い手育成塾（就農希望者） ・熟年農業者養成講座（定年退職者） ・農業革新挑戦塾（認定農業者） ○農業大学校の魅力情報を発信 → HPの刷新、メディアと連携した講座募集広告の実施 | |



3 えひめ農業女子確保支援事業費

県内外の就農を希望する若年女性に対し、就農体験・交流の場を創出し、就農へ導くとともに、女性農業者が働きやすい労働環境の整備に向けて支援する。

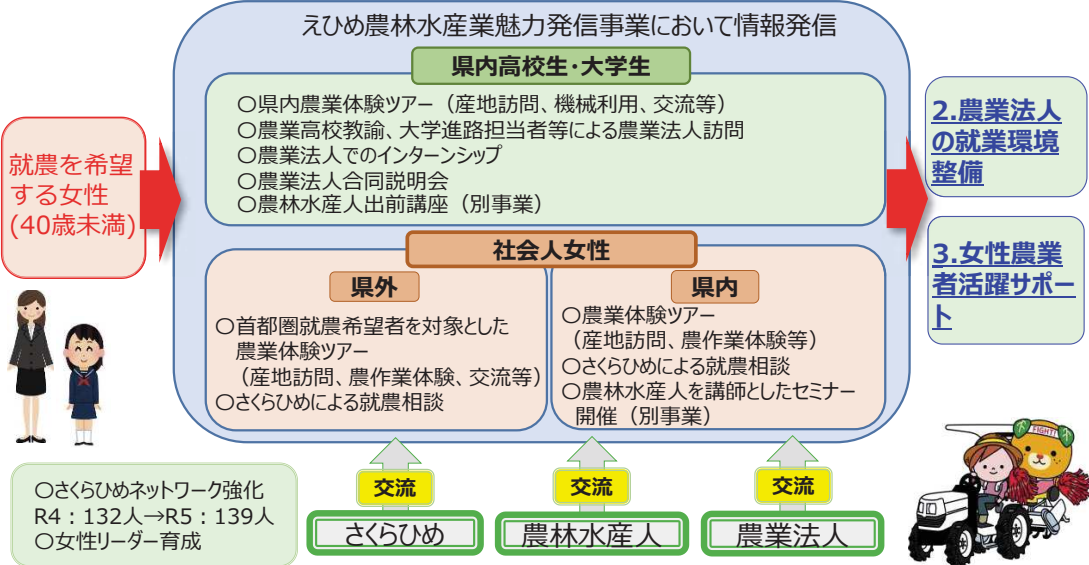
お問い合わせ先
農林水産部農政企画局
農政課農地・担い手対策室
(089-912-2215)

事業イメージ	KPI 40歳未満の新規女性就農者数 (現状値の1.5倍である25人/年を目指す)	現状値 17人(過去5年平均) 目標値 75人(R5~7年度累計)
---------------	---	--------------------------------------

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今までは、都市圏の女性をターゲットに移住・就農促進が中心で、県内の若年層の女性をターゲットとした対策が手薄 ○農業の魅力や農業で働く女性に接する機会が少なく、職業選択肢に入っていない ○農村では女性のライフスタイルに応じた環境が未整備(子育て、労働環境)
対策	○幅広い層の女性を対象に、状況や就農意欲に応じたきめ細やかな支援策を講じ効果的に就農へ誘導する。

1. 県内農業の体験

産地での交流や農業体験等を通じた、就農へのイメージづくり



事業概要	【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
-------------	-----------------------

- 1 ひめの国農業体験支援 2,866千円**
 - (1) 就農を希望する女性への支援 (2,497千円)
 - ① 高校生・大学生を対象に、就農や職業選択への支援
 - ・農業体験ツアーの実施(産地訪問、スマート農業体験、農林水産人等の交流)
 - ・高校教諭や進路担当者による農業法人訪問(学生への就農の後押し)
 - ・農業法人による企業合同説明会やインターンシップ(大学生)
 - ② 社会人女性を対象に、就農への支援
 - ・県外就農希望者: 農業体験ツアーの実施(産地や就農研修施設の訪問、さくらひめ等との交流)、さくらひめによる首都圏就農相談
 - ・県内就農希望者: 農業体験ツアーの実施(産地や農業法人の訪問、農作業体験、さくらひめ等との交流)、さくらひめ等による就農相談
 - (2) さくらひめネットワークの強化 (369千円)
- 2 ひめの国就業環境整備支援 3,000千円**
 - ① 就業環境整備支援
 - 農業法人等における女性の雇用促進を目指した就業環境整備の支援
 - ・対象: 女性農業者の雇用に向けて就業環境整備を行う農業法人
 - ・補助率: 県1/3、市町1/3、法人1/3(300千円×5法人)
 - ② 女性農業者雇用促進整備支援
 - ・農業法人における就業規則等の諸規定作成支援
 - ・補助率: 定額補助 上限300千円 ×5法人
- 3 ひめの国女性農業者活躍サポート支援 5,104千円**
 - ① 地域サポート体制整備支援(200千円×5グループ)
 - ② 女性農業者の育児と農作業サポート活動支援
 - ③ 女性農業者の活動支援(150千円×8グループ)
 - ④ 地域をけん引するリーダーの育成(リーダー研修会・先進地視察研修)



4 えひめの食ブランディング事業費

令和5年度当初予算(案)
予算額 16,997千円

一次産品全体のブランド価値を上げていくため、飲食関係団体等と連携し、県外客(B to C)をターゲットにした「食」の体験とプロモーションにより本県が誇る豊富な食材の魅力発信を強化するイベントを開催し、「えひめ=食」のブランディングを図る。

お問い合わせ先
農林水産部農政企画局
ブランド戦略課
(089-912-2567)

事業イメージ

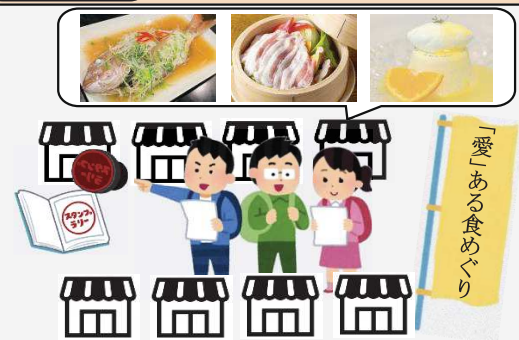
KPI 県産食材メニュー販売額
(R5:1万食、R6:2万食、R7:3万食の提供) **現状値** -
目標値 1億800万円(R5~7年度累計)

現状	都道府県魅力度ランキング2022 [ブランド総合研究所]	食のイメージ調査(都道府県) [㈱永瀬事務所 パイヤーズガイド事業部]	料理・食材がおいしい都道府県 [㈱B.M.F.T.]
	36位	26位	33位

戦略 県外客(BtoC)へのPR強化による「県産食材」のイメージアップ

イベント実施協議会の開催 ○食材・店舗の選定 ○PR・関連イベントの企画

食めぐりイベント 県産食材メニューの提供店舗を巡って「えひめの食」を堪能



オープニングイベント

有名シェフ等を招いた「食とトーク」イベント



イベントのプロモーション

- パブリシティの実施
 - ・メディア掲載の働きかけ
 - ・テレビ個別プロモート
- ターゲティング広告
- 旅行会社と連携した誘客促進
- 県産食材との接点の増加



旅行者の約7割が食を目的に旅先を決める
(備ぐるなび「旅先の食に関する調査」)

豊富な食材を使った「えひめの食」を提供
⇒ 県産食材全体の魅力を堪能

県産食材の魅力発信を県外向けに強化
⇒ 県産食材との接点を増加

更なるPRの強化により県産食材全体の競争力を高め、消費者や事業者から選ばれる「えひめ食材」としての地位を確立 → 「えひめ=食」のブランディング

事業概要

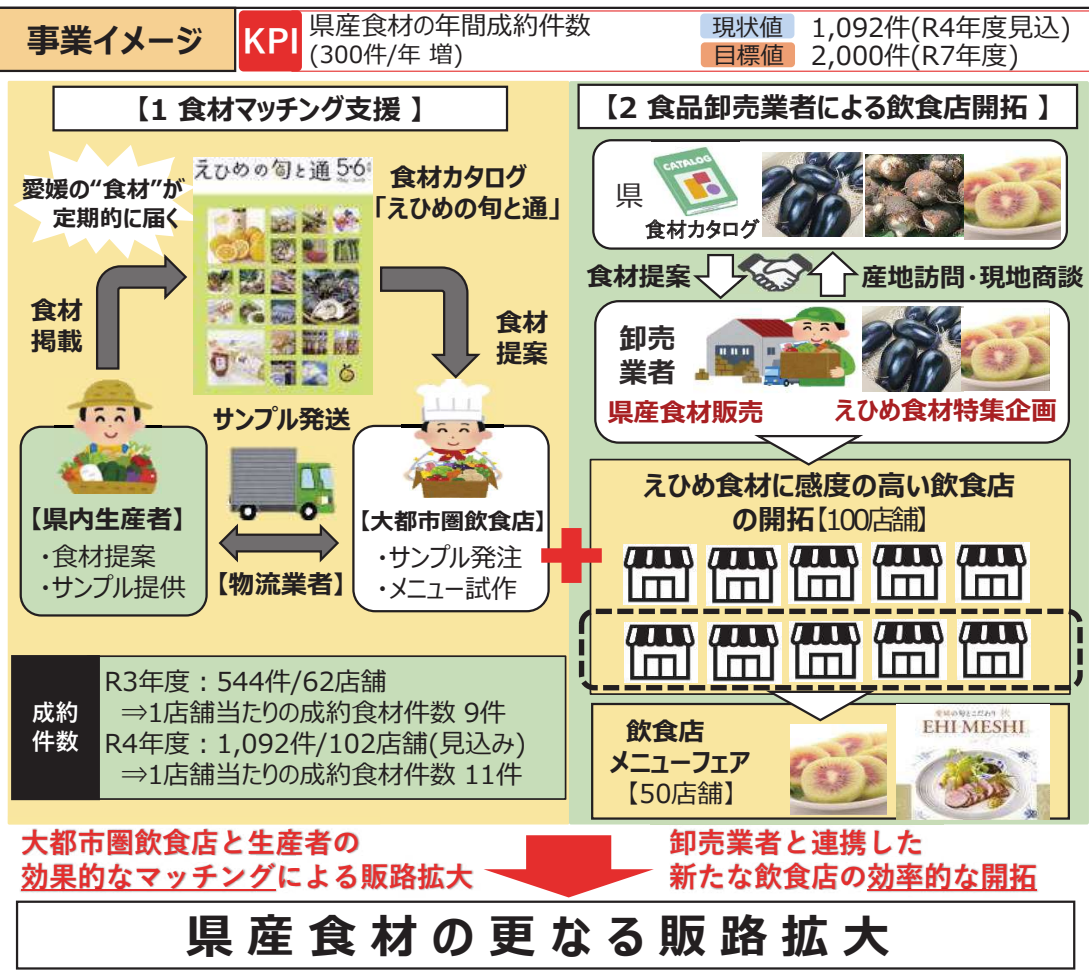
【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

- 1 イベントの開催 8,272千円**
 - (1) 食めぐり(飲食店周遊) イベントの開催 (6,325千円)**
飲食関係団体等と連携してブランド産品や代表的な県産食材をメニュー化し、県外客がメニュー提供店舗を巡り「えひめの食」を堪能できるイベントを開催する。
▶実施時期 R6年2月(1ヶ月間) ▶実施場所 松山市内飲食店等 約50店舗
〔メニュー開発に係るサンプル支援、統一デザインによるPR資材の作成
・特設HP作成、参加店舗を巡るデジタルスタンプラリー、プレゼント企画〕
 - (2) オープニングイベントの開催 (1,947千円)**
有名シェフを招き、県産食材をテーマに「食とトーク」イベント・プレミアムディナーを開催する。
▶実施時期 R6年2月初旬(1回) ▶実施場所 松山市内ホテル等
- 2 イベントのプロモーション 8,373千円**
イベントへの誘客促進に向けた広報等を実施し、県外客と県産食材の接点を増加させ、「えひめ=食」をブランディングする。
 - (1) メディア掲載に向けたパブリシティの実施 (3,343千円)**
 - (2) Webでのターゲティング広告によるPR (1,730千円)**
 - (3) 旅行商品の造成や旅行会社と連携した誘客プロモーション (3,300千円)**
- 3 イベント実施協議会の開催 352千円**
県内飲食関係団体と連携し、効果的なイベント開催方法を協議する。
(食材・店舗の選定、PR・関連イベントの企画、次年度以降の開催方法を検討)

5 えひめ食材販路拡大パワーアップ事業費

大都市圏の飲食店と県内生産者を効果的につなぐ本県オリジナルのマッチング支援を実施するとともに、食品卸売業者を通じて新たな飲食店を効率的に開拓し、県産食材の更なる販路拡大を図る。

お問い合わせ先
 農林水産部農政企画局
 ブランド戦略課
 (089-912-2567)



事業概要 【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

1 食材マッチング定期便事業 8,778千円
 定期的な食材提案により、大都市圏飲食店と県内生産者を効果的につなぐ本県独自のマッチング支援を実施する。
 ●食材提案：旬の食材カタログを発行(20食材×4回)、食材サンプルの配送
 ●対象：えひめ食の大使館など本県ゆかりの飲食店100店舗

2 食材販路拡大パワーアップ事業【新規】 11,704千円

(1) 食品卸売業者による飲食店開拓 (5,324千円)
 大都市圏の食品卸売業者と連携して新たな飲食店を効率的に開拓し、県産食材の更なる販路拡大を図る。
 ●卸売業者(2業者)の顧客飲食店を開拓(100店舗)
 ●産地訪問・現地商談会により卸売業者が県産食材への理解を深め、顧客飲食店に行う県産食材の販促活動を支援(チラシ、オンラインショップでの愛媛特集等)

(2) えひめメニューフェア開催事業 (6,380千円)
 県産食材の利用促進と継続取引につなげるため、上記飲食店でメニューフェアを実施する。
 ●参加50店舗 ●フェア1か月間 ●県産食材を使ったメニュー選定
 ●グルメサイト上でのえひめフェア特集ページ掲載

3 フォローアップ支援事業 1,935千円
 生産者、飲食店及び食品卸売業者のフォローアップを実施。(旅費・需用費等)

6 県産農林水産物輸出促進事業費

日本の人口が減少し、国内市場が縮小していく中、更なる輸出促進を図るため、アジアや欧米をターゲットに、かんきつを中心としたプロモーションを強化するとともに、検疫条件等をクリアするための環境整備を支援することで、輸出の拡大を図る。

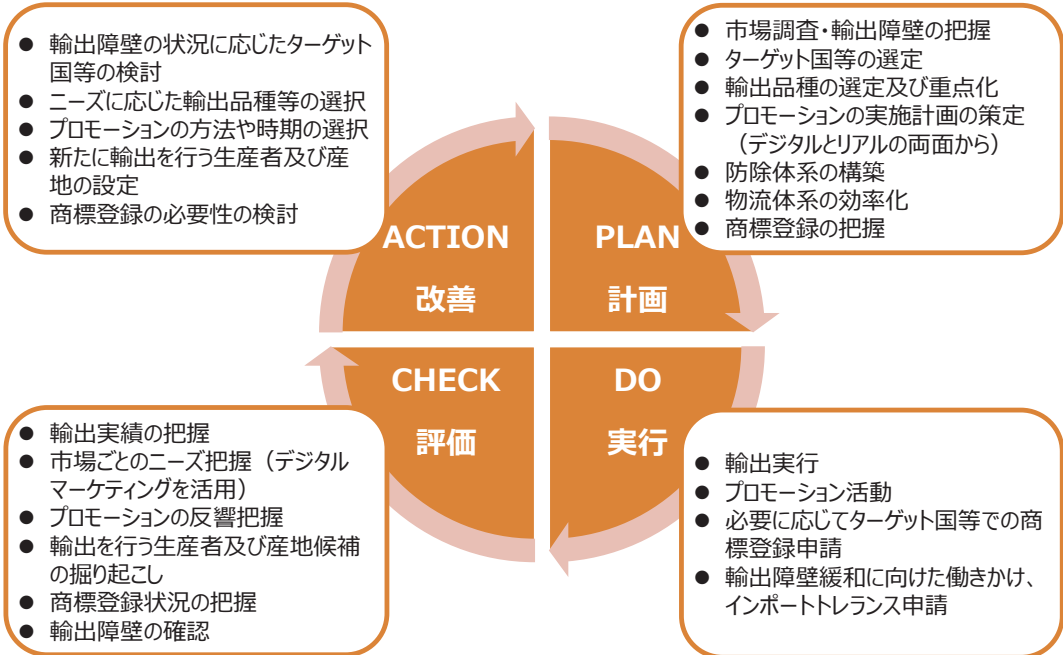
お問い合わせ先
 農林水産部農政企画局
 ブランド戦略課
 (089-912-2567)

事業イメージ

KPI 県関与かんきつ年間輸出額(輸出量) 現状値 0.5億円(107.2t)(R3年度)
 (R4:0.6億円、R5:1.0億円、R6:1.2億円) 目標値 1.2億円(175.0t)(R6年度)

事業主体 えひめ愛フード推進機構

事業スキーム



事業概要

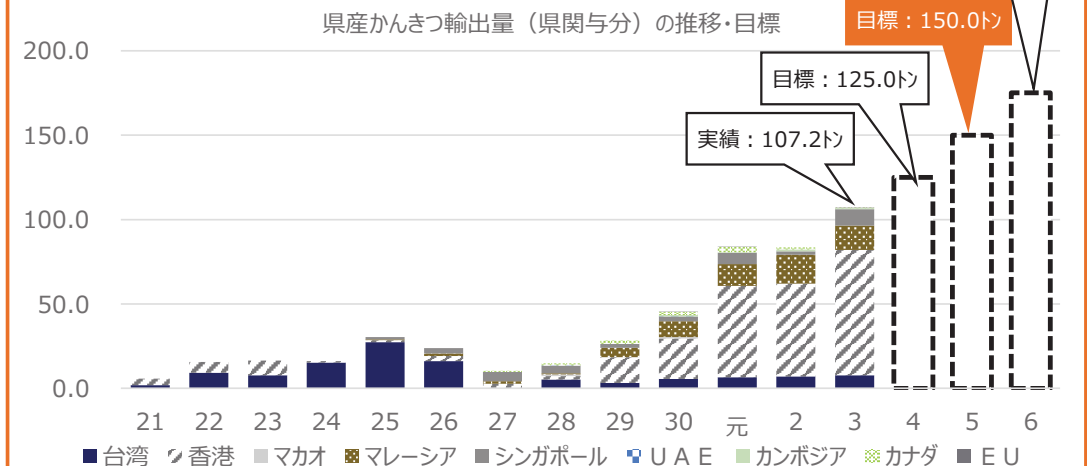
【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

1. 輸出力強化に向けたプロモーション事業 (11,322千円)

- (1) アジア向け輸出拡大強化事業 (6,160千円)
 - ① SNS発信・PR活動 (台湾・香港・マカオ・マレーシア・シンガポール)
- (2) 欧米向け輸出拡大強化事業 (5,162千円)
 - ① SNS発信・PR活動 (カナダ)
 - ② 欧州向け河内晩柑プロモーション活動 (フランス・ドイツ・スイス) 【新規】

2. 輸出力強化に向けた環境整備事業 (9,000千円)

- (1) 県産青果物輸出環境整備事業 (3,000千円)
 - ① 生産者向け説明会の開催
 - ② 海外向け防除体系構築に向けたモデル園地実証 (対象国・地域：台湾)
- (2) グローバル産地づくり推進事業【国補事業】(6,000千円)
 - ① 欧州向け「河内晩柑」及びベトナム向け「温州みかん」





7 儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費

普及組織が普及指導計画(産地づくりビジョン)の目標を達成し、儲かるモデル産地育成システムを確立するため、産地が戦略的に実施する、トップ層における先進技術のミドル層での技術実証や、流通販売促進の取組を支援する。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

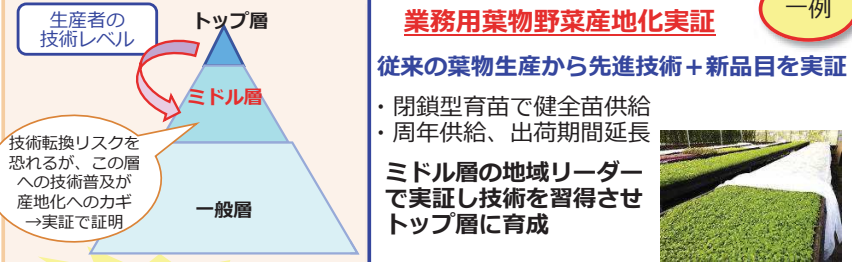
事業イメージ

KPI 戦略品目の販売額(対R4年度比) 現状値 戦略品目はR5年4月に設定
(4%/年増) 目標値 16%増(R8年度)

R5~R9年で産地育成システムの確立

普及組織の普及指導計画(産地づくりビジョン)で強かに推進

①先進技術をミドル層農家(JA部会長・集落組織リーダー等)で実証し産地へ波及



②災害復興へ応用 カンキツの根域制限等の技術を創造的復興に応用

③戦略的販売指導 出口調査を踏まえたシャインマスカット冬季高単価販売

先進技術をトップ層からミドル層で実証・浸透させ、出口を見据えた戦略的な産地化



デジタルを用いた新たな手法での技術指導へ

- 革新的技術や先進農家の栽培技術をデジタルで見える化
- 繊細な技術は動画でわかりやすく指導
- 動画は普及組織で管理しデータ蓄積、ノウハウ流出防止

革新的技術導入農家や先進農家の技術を普及組織が動画撮影、編集等によりデジタルで見える化

農業生産
1200億円
堅持!!

儲かるモデル産地育成システムの確立
農業者の技術の高位平準化

事業概要

1 儲かるモデル産地育成システム確立実証事業 補助金：10,000千円

事業実施主体：生産団体、農業法人、JA、認定農業者

(1) 普及組織による戦略的産地化実証事業(補助率1/3)

- 農業者や団体が産地化を進めるために必要な、以下の取組費用を支援
- 先進的技術(施設、栽培システム、機械等)の導入
 - 災害復興園地の創造的復興に必要な農地整備や施設等の導入
 - 戦略的な流通・販売のシステムを確立するために必要な施設等の導入

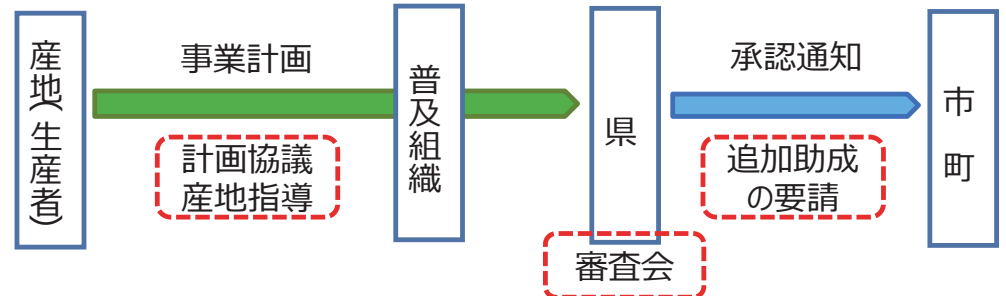
(2) 普及組織による戦略的流通販売促進支援事業(補助率1/2)

- 産地化に必要な、展示商談会出展費、パッケージデザイン作成費等の流通販売の実証活動に必要な費用の支援

2 先進的技術及び流通・販売戦略指導事業 3,000千円

普及組織が普及指導計画(産地づくりビジョン)の目標を達成し、儲かるモデル産地を育成するために必要な、先進的技術や戦略的流通・販売を指導するとともに、デジタルを用いた新たな手法での技術指導を実現。

<< スキーム >> 儲かるモデル産地育成システム確立実証事業





8 紅プリンセス生産販売支援事業費

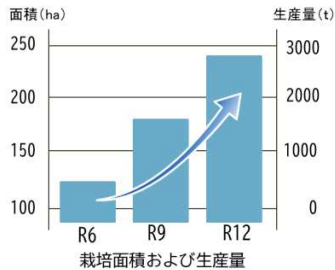
「紅プリンセス」の生産力および周年供給体制の強化を図るため、ブランド果実の生産拡大や高品質化のための施設整備を支援するとともに、ロゴを活用したPR・販売物のデザイン制作やテスト販売を実施し、ブランド強化に向けたマーケティング戦略の構築を図る。

お問い合わせ先
 農林水産部農業振興局
 農産園芸課
 (089-912-2565)

事業イメージ	KPI	栽培面積	現状値	60ha(R4.10時点)
		(R5:90ha, R6:120ha, R7:140ha)	目標値	140ha(R7年度)

「紅プリンセス」を令和12年度に栽培面積240ha、生産量2,000トン为目标(果樹農業振興計画)

生産対策



生産拡大のための対策

生産拡大を図るための対策

- 研修会や早期成園化ための支援



産地化に向けた研修 生育促進資材

- 高品質生産を図るための支援



防鳥ネットの整備 ハウスの整備 (寒害・高品質対策)

【関連予算】

栽培に関する研究(果樹研究センター)

- ・高品質安定生産技術(正品率向上等)の開発
- ・栽培マニュアルの改訂等

販売促進

マーケティング戦略構築	本格販売	販売拡大
5年度：想定生産量30トン ●品種の立ち位置やターゲット（販売チャネル・市場・顧客）、情報発信の手法等のマーケティング戦略を民間企業のノウハウを活用し、関係団体と協議の上、策定 ●3月にテスト販売を実施	6年度：想定生産量100トン ●本格販売と合わせて、メディア発表会の開催 ●出荷量も限定的となることから、首都圏を中心に販売及びプロモーションを図ることで、ブランド力を高め、高価格帯での取引及び価格帯の向上を目指す	12年度：目標生産量2,000トン ●フェアの開催やメディアを活用した情報発信を通して、全国的な認知度を高める ●販売は、生産量の増加に応じて全国展開を図るとともに、海外のニーズを把握しながら、一部輸出を目指す

事業概要	【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
	【農林水産業体質強化緊急対策基金充当事業】

事業内容

(1) 紅プリンセスの生産拡大支援 21,120千円

- 紅プリンセスの研修会や早期成園化のための支援
 - 紅プリンセスの高品質生産のための施設整備
- 事業主体：市町、事業実施主体：JA等
 補助率：事業費の1/3以内

事業採択にあたっての主な採択基準等

- 果樹産地構造改革計画または普及ビジョンに即した事業内容であること
- 受益戸数：3戸以上、受益面積概ね15a以上

(2) マーケティング戦略構築 4,000千円

- マーケティング戦略構築及びPR・販促物デザイン制作
 品種の立ち位置（イメージ戦略）の確立、販売チャネル・市場・顧客のターゲット及び情報発信の手法等のマーケティング戦略を、民間企業のノウハウを活用し、全農えひめ等関係団体と協議の上、策定するとともに、イメージ戦略に基づいたPR・販促物のデザインを制作
- テスト販売
 紅プリンセスの認知度向上を図るため、3月中旬に首都圏及び県内の百貨店（3店舗）でテスト販売を実施し、アンケート調査により消費者の生の声を把握

9 ひめの凧ブランド力強化事業費

高品質な「ひめの凧」の安定生産のために、JAの共同乾燥調製施設の乾燥・貯蔵機能の強化等を支援するとともに、県内外の消費者に「ひめの凧」を積極的にPRして、高品質生産体制の整備とブランド化を図る。

お問い合わせ先
 農林水産部農業振興局
 農産園芸課
 (089-912-2565)

事業イメージ **KPI** 栽培面積 (周年販売が可能となる1,000haを目指す) **現状値** 505ha(R4年度) **目標値** 1,000ha(R6年度)

集出荷体制の維持・強化 **方針** **需要拡大と認知度向上**

儲かる水田農業の実現には、「ひめの凧」の普及拡大が必要！

生産・集荷強化

- 高品質なひめの凧の集出荷体制が必要
- ▶ JAの共同乾燥施設の整備を支援
- ▶ 共同乾燥施設の機能向上、長寿命化

効果

- ・集荷率向上、高品質出荷
- ・消費拡大、イメージ向上

販路拡大

- R6に栽培面積を1,000haに拡大(目標)
- [R4~6] ▶ CM等のPR活動の強化による県内販売拡大
- ▶ 県外需要の獲得・拡大にチャレンジ
- [R7以降] ▶ 県内販売 + 県外販売拡大で高価格維持

- 県外消費者に対する需要開拓
 - ▶ 道後ブランドとコラボ (ホテル等を拠点としてPR)
 - ▶ 県外有名量販店等とタイアップによる新たな需要開拓!!
- ※ 現行の高価格を維持するため、県外販売に取り組む (食のこだわり層)
- 県内販売の拡大
 - ▶ 県民への周年販売を達成
 - ▶ 県産米で最高価格の販売

ひめの凧の作付拡大・高品質生産・ブランド確立を目指す

事業概要 【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
 【農林水産業体質強化緊急対策基金充当事業】

- 生産・集荷強化支援事業 44,610千円**
 既存共同乾燥施設のうち「ひめの凧」の品質保持に関連する施設・機械の整備を支援 (補助率: 1/3以内)
- 販路拡大支援事業 6,400千円**
 生産量増加に合わせて、県内外でプロモーション活動を展開し、新たな販路の拡大に取り組むとともに、認知度向上とブランド化を図る。
 - 県外量販店等でのPR事業 (委託事業、2,250千円)**
 県外量販店における試食販売フェアの開催や「えひめ食の大使館」での利用促進により、新たな販路拡大を模索する。
 - 消費拡大・販売促進活動 (4,150千円)**
 - 県外観光客等を対象としたキャンペーンの実施 (委託事業)**
 - 道後地区の旅館・ホテル・飲食店等と連携した「ひめの凧」の提供 (委託事業)**
 - 愛媛県米麦振興協会が行う販売促進活動の支援 (負担金)**
 ひめの凧のブランド力強化・生産拡大を図るため、県米麦振興協会が国の事業を活用して行う新聞広告・TVCM等の取組を支援する。
 事業名: 米穀周年供給・需要拡大支援事業 (国直接採択)
 事業実施主体: 県米麦振興協会 補助率: 国1/2 (県1/4・協会1/4)

《スキーム》

10 スマート農業技術開発・普及促進事業費

農業現場での労働力不足を解消し、いっそうの省力化・効率化を図るため、米麦二毛作体系（ひめの凧+はだか麦）における、スマート農業体系の総合実証を行い、実証成果を速やかに横展開し、現場実装を加速化させる。

お問い合わせ先
 農林水産部農業振興局
 農産園芸課
 (089-912-2565)

事業イメージ **KPI** 新技術開発・普及数
 (R5:2件、R6:4件) 現状値 0件(R4年度)
 目標値 6件(R5~6年度累計)



事業概要

- 生産者への研修会の実施** 607千円
 研修会を開催し、生産者に技術普及を図る。
- スマート農機を用いた省力化・高品質化の研究・実証** 1,916千円
 米麦二毛作におけるスマート農機体系の活用方法や効果を明らかにする。
- スマート農業現地実証** 3,477千円
 米麦・果樹等で、ドローン等を活用したスマート農機の現地実証を行い、現場実装を加速させる。

《総合実証スキーム》米麦二毛作体系

農林水産研究所

○ 収量コンバインやドローンから取得したデータを利用した米麦二毛作体系の肥培管理の検討

↓

普及拠点
現地生産農家

○ デジタル技術を活用したドローン等によるほ場内の収量、生育マップの作成及び精密管理技術の実証

↓

スマート農業推進
協議会

○ 委員による技術の評価・助言
○ 生産者への研修会の実施



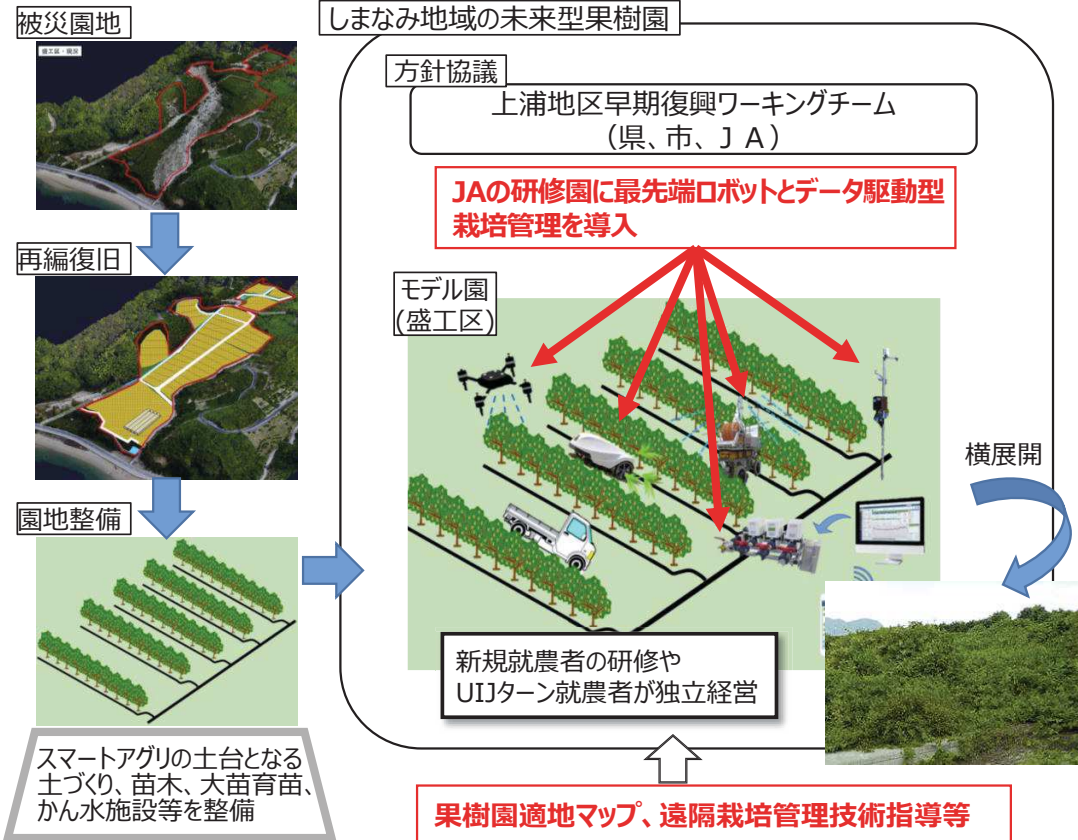
11 再編復旧園発スマートアグリ推進事業費

上浦地区再編復旧園を活用し、ロボット作業やデータに基づく栽培など、生産効率の高い未来型果樹園をモデル的に整備し、若い移住者等を新規就農者として呼び込む拠点として構築するとともに、耕作放棄地への横展開を図る。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

事業イメージ

KPI スマートアグリ園地面積
(R5:1ha、R6:5ha、R7:3ha)
現状値 -
目標値 9ha(R5~7年度累計)

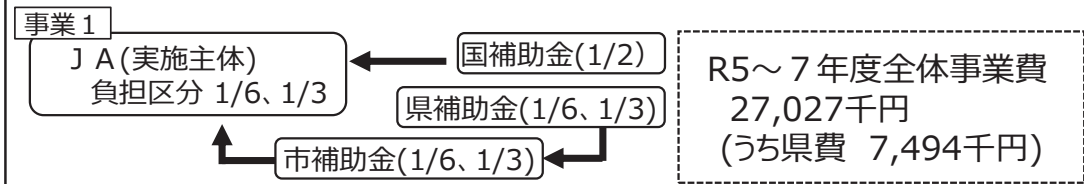


事業概要

- 1 果樹スマートアグリのモデル園地整備 2,521千円**
 - ・実施主体 JA
 - ・事業内容 ロボット(防除・運搬機)、データ駆動型栽培管理システム(気象クラウドシステム、遠隔自動かん水装置)の導入支援
 - ・補助率 1/6(国1/2 市1/6)・1/3(市1/3)
- 2 果樹園適地マップ作成 1,045千円**

横展開の促進に向け、営農に適した地域(-3℃以上)を示すマップを作成
(民間気象会社に委託し、GPSと気温記録装置の搭載車で特徴を把握
尾根や谷、盆地など複雑な地形の影響による温度差や農家の意見を加味)
- 3 遠隔栽培管理技術指導等**
 - ・新規就農者に対しデジタルツールを使った遠隔指導<既存事業費>
 - ・移住者や市場、消費者への産地PR映像の作成<ゼロ予算、R7予算化>

《スキーム》



※事業2・3は県が実施

12 畜産新技術等導入支援事業費

本県畜産経営の収益力や生産性向上を図るため、AI等を活用した家畜の繁殖管理技術などの新技術等の導入に必要な施設の整備や改修等および試験的な導入に係る経費を支援する。

お問い合わせ先
 農林水産部農業振興局
 畜産課
 (089-912-2575)

事業イメージ

KPI 新技術等導入農家の収益
 (対R4年度比5%増を目指す)
 現状値 (参考)R4年度導入農家1%増見込(対R3年度比)
 目標値 5%増(R8年度)

《これまでの成果》



①飼養規模の拡大 ②地域ぐるみの振興体制構築 ③収益性の向上

《残された課題》



①家畜飼養管理の効率化 ②家畜糞尿管理の省力効率化 ③作業コストの低減

収益性や生産効率の向上に寄与する新技術等の導入による課題解決

更なる収益力等の向上畜産基盤の強化

事業概要

【農林水産業体質強化緊急対策基金充当事業】

1 新技術等導入支援（ハード） 25,500千円

新技術等を導入するために必要な施設および器械の整備や改修、付帯設備の取得に係る経費を支援する。

補助対象者 畜産クラスター協議会
 補助率 1 / 3
 補助金上限額 1,500千円



運動感知センサー



繁殖情報管理

2 新技術等導入支援（ソフト） 1,500千円

農家で取り入れられていない新技術等(資材)の試験的な導入に係る経費を支援する。

補助対象者 畜産クラスター協議会
 補助率 1 / 2
 補助金上限額 150千円



新飼料

監視カメラ

《スキーム》

